

再評価結果（平成21年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：深澤 淳志

事業名 地域高規格道路 <small>おごりはぎ</small> 小郡萩道路 一般国道490号 <small>みとうおおだ</small> 美東大田道路	事業区分 一般国道	事業主体 山口県
起終点 自：山口県美祢市美東町真名 至：山口県美祢市美東町大田	延長 5.9 km	
事業概要 一般国道490号は、山口県宇部市を起点とし、山口県萩市に至る延長約66kmの幹線道路である。大田絵堂道路は、県央部と萩市を結ぶ延長約30kmの地域高規格道路「小郡萩道路」の一部を構成している。		
H11年度事業化 都市計画決定なし		H12年度用地着手
全体事業費 約180億円		事業進捗率 88%
計画交通量 8,100~9,300台/日		供用済延長 0km
費用対効果分析結果 B/C (事業全体) 2.2 (残事業) 9.3	総費用 (残事業)/ (事業全体) 53/223億円 (事業費) 22/192億円 (維持管理費) 32/32億円	総便益 (残事業)/ (事業全体) 497/497億円 (走行時間短縮便益) 449/449億円 (走行費用減少便益) 32/32億円 (交通事故減少便益) 15/15億円
基準年 平成20年		
感度分析の結果 事業全体について感度分析を実施 交通量変動：B/C=2.3(+10%) B/C=2.2(-10%) 事業費変動：B/C=2.0(+10%) B/C=2.4(-10%)		
事業の効果等 ・高速ネットワークを補完し、高速ICへのアクセス性の向上（美東JCT） ・拠点都市間の連絡強化（山口市～萩市）		
関係する地方公共団体等の意見 沿線地域の交流機会を拡大し、産業及び広域観光ネットワークの形成を図り、人口定住や地域振興の推進に大きく寄与することが期待されることから、引き続き整備促進を図り、早期完成が望まれる。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 平成11年に国幹審で小郡萩道路が中国縦貫自動車道連結の施工命令が出された。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 用地買収が98%完了し、主要構造物である橋梁9橋が完了している。引き続き、橋梁6橋を含め、全線5.9kmの整備を進める。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 引き続き工事を推進し、平成22年度末供用開始を目指す。		
施設の構造や工法の変更等 特になし		
対応方針 事業継続		
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案し、整備効果も期待出来る。		
事業概要図		

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。